



アサヒフォージ株式会社本社社員食堂〔岐阜県〕

# 第76期 中間株主通信

2023年4月1日～2023年9月30日

 株式会社 ピーエス三菱

証券コード：1871



# Top Message

代表取締役 社長執行役員

森 拓也

## ■ 当第2四半期の事業環境と業績概況について

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げによりさまざまな社会の制限が解除されました。インバウンド需要を含んだサービス業は本格的にコロナ禍前まで持ち直しつつあり、個人消費も回復基調にあります。一方、製造関連では半導体不足からの挽回生産により自動車関連の輸出が増加しているものの、その他の輸出については世界的な需要が低調に推移しております。今後、欧米の金融対策による景気持ち直しや国内半導体産業の復調が期待され、緩やかに日本経済は好転していくものと見込んでおります。

当社グループが属する建設産業においては、半導体産業の景気循環やインバウンド需要を見込んだ民間設備投資により、建築市場は縮小に至ることなく堅調に推移しています。また、土木事業においても維持・補修を含めた公共建設投資が引き続き好調であり、しばらくはこの好況感が続いていくと予想されます。一方で、資材や燃料の価格高騰が引き続き懸念され、採算性を最優先した受注活動や工程・原価の徹底管理による収益性の確保などが求められます。さらに2024年4月から始まる罰則付き時間外労働時間の上限規制適用など、早急に解決しなければならない課題も抱えています。

このような経済・社会情勢のもと、当社は「中期経営計画2022」の基本方針・戦略に基づき、持続的な成長を目指し、目標数値の達成に向け取り組んでまいりました。受注高については555億2百万円（前年同四半期比2.9%増）、売上高は576億69百万円（前年同四半期比21.3%増）、営業利益は33億10百万円（前年同四半期比44.0%増）となりました。

## ■ 今後の取り組みについて

当社グループを取り巻く事業環境においては、インバウンド需要を見込んだ施設や半導体工場建設などの民間設備投資、或いは老朽化したインフラ整備のメンテナンスや国土強靱化計画等といった公共建設投資が堅調に推移している一方で、当社グループを含めた建設産業の就労人口は減少しており、将来の建設業界を担う人財の確保や育成が急務となっております。また、社会や環境の大きな変革期を迎えた昨今、DX推進をはじめとした生産性や収益性を向上する体制の整備は全産業における喫緊の大きな課題に挙げられています。さらには持続可能な社会の実現に向け、さまざまなステークホルダーからの要請も多岐にわたっております。ものづくりを通じて常に有益な価値を提供するには、さらに高いレベルで安全・品質に取り組むことが求められていると認識しております。

このような環境下において、「中期経営計画2022」の戦略テーマである「環境に配慮した事業活動を推進し、成長分野における収益力を強化するため、建設DXの推進と多様な人財活用により生産性を進化させる」ことに注力し、実効性の高い環境保全活動を展開し社会の期待に応えるとともに、当社グループを挙げてさらに発展していくよう努めてまいります。

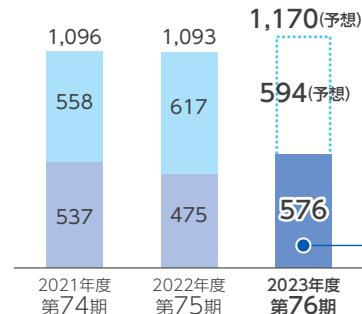
株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## [長期ビジョン]

プレストレストコンクリート技術の先駆者として  
さらなる深化と新技術への飽くなきチャレンジで  
地球にやさしく、安全で快適な社会の実現に貢献する  
従業員が一丸となり魅力ある企業を目指してまいります

### ■決算ハイライト (単位：億円)

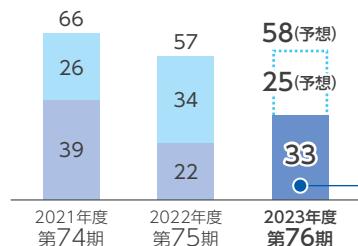
#### 連結売上高



**576 億円**

前年同四半期比  
**21.3%増**

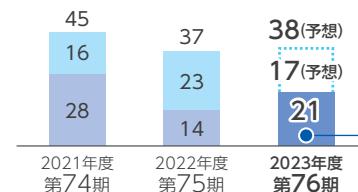
#### 連結営業利益



**33 億円**

前年同四半期比  
**44.0%増**

#### 連結当期純利益\*



**21 億円**

前年同四半期比  
**43.7%増**

■ 前期 ■ 下期

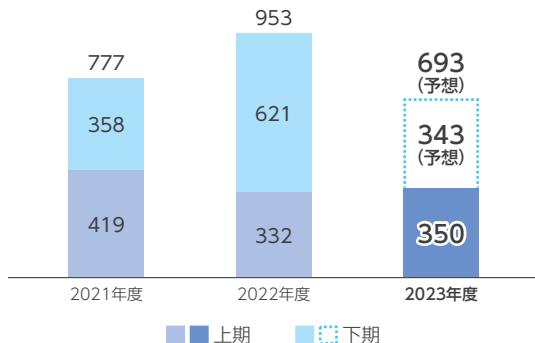
\*連結損益計算書上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

※本誌に記載されている業績予想は、作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。  
※億円以下は切り捨てで集計していますので、合計に差異がある場合があります。

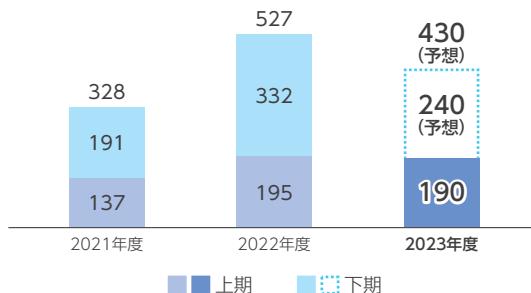
# セグメント情報 (連結)

	売上高		売上総利益	
	上期	通期見通し	上期	通期見通し
土木事業	362億円 前年同期比 15.53% ↑	693億円 前年同期比 1.35% ↓	60億円 前年同期比 3.61% ↑	117億円 前年同期比 6.49% ↓
建築事業	200億円 前年同期比 33.46% ↑	450億円 前年同期比 23.16% ↑	24億円 前年同期比 131.37% ↑	36億円 前年同期比 32.17% ↑
非建設事業 (製造・その他)	13億円 前年同期比 20.54% ↑	27億円 前年同期比 6.17% ↑	1億円 前年同期比 20.75% ↓	5億円 前年同期比 71.63% ↑

## ■ 土木事業受注高 (単位:億円)



## ■ 建築事業受注高 (単位:億円)



## ■ 1株当たり年間配当金の推移 (単位:円)



## 通期の業績見通し (連結)

上期の売上高は、土木・建築事業ともに、前期比で増加しました。通期においては、土木事業が前期比で若干減少する予想ですが、手持ち工事の着実な進捗により通期見通しの達成を目指します。

売上利益についても、上期実績では土木・建築事業ともに前期を上回ることとなりました。特に建築事業で手持ち工事の原価改善によって、大きく回復することとなりました。通期については、土木事業で若干の減少の見通しですが、大型工事の設計変更や原価改善によって通期見通し数値以上の利益を目指します。

受注高については、土木事業では大型案件の受注等により前年上期を上回る受注となりました。建築事業では、入札案件の下期への期ずれ等により前期比微減となりました。通期見通しは、土木・建築事業ともに、好調な受注高であった昨年度の反動で前期比減少の予想ですが、狙った案件の確実な受注により予想数値の達成を目指します。

なお、配当金につきましては、株主還元方針に従い、中間配当は1株あたり17円とし、期末配当予想の1株あたり17円と合わせて年間配当予想は1株あたり34円となります。

### ポイント

今期より中間配当を再開しました

財務情報の詳細データは  
右記を読み込みの上、  
ご参照ください



※本誌に記載されている業績予想は、作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。  
※億円以下は切り捨てで集計していますので、合計に差異がある場合があります。

# PCaPC扁平梁 (Hiratto) の開発

## — 建築空間利用の自由度を高め、工期短縮につながる扁平梁 —

建物の階高や天井高は、天井裏スペースの設備配管やダクトの配置に影響されることが多く、これらの配置によっては、意匠・設備・構造の設計に制約が生じます。当社ではこれらの制約を解消するため、柱の幅より幅が広くかつ高さを抑えた横長断面のプレキャストプレストレストコンクリート (PCaPC) の扁平梁工法『Hiratto』を開発しました。

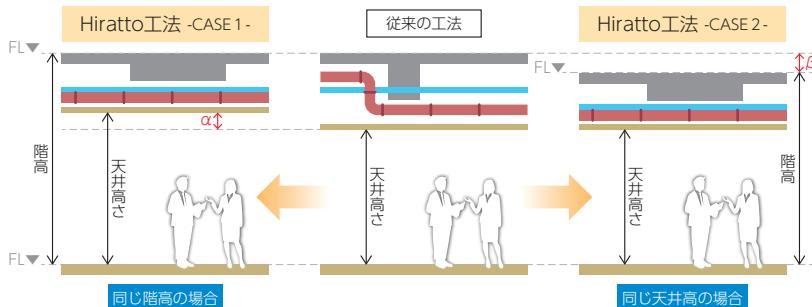
本工法の採用により現場の作業を大幅に軽減でき、工期短縮につながるPCaPC製品が追加されたことで、施主側の要望に応える幅がさらに広がると期待されます。

※構造性能は日本建築総合試験所の建築技術性能証明を取得しています。

PCaPC 扁平梁 ヒラット  
**Hiratto**<sup>®</sup>

### 特長

1. 建築空間利用の自由度が増す
2. 省力化・工期短縮・騒音低減



同じ階高の場合

- ・天井の高い明るく開放的な空間により建物の利用価値を高める
- ・設備計画の自由度が向上
- ・将来の用途変更にも対応

同じ天井高の場合

- ・建物の高さを抑えられる
- ・高さ制限に応じた建物の計画が可能

## interview



技術本部技術部  
建築技術グループ  
吉永 健治

### ■ 開発のきっかけは？

鉄筋コンクリート (RC) の扁平梁は以前から存在しましたが、当社のプレキャストやプレストレスの技術を使ってより高品質・高性能な扁平梁が実現できると考えました。3年前にプロジェクトチームを立ち上げ、設計・構造・実験・施工・営業などのワーキングチームで研究を進めました。

### ■ どのような建物で活用されるのがよいか？

梁下のスペースを確保できるので天井に設備配管の多い医療施設に適しています。設備計画の自由度が高まり、梁貫通がないので将来の設備更新にも対応しやすいです。また建物の高さ制限のある地域では1フロアの高さを抑えて建物全体を制限内の高さに収める設計が可能になります。

### ■ 今後の展望は？

RC扁平梁は柱の幅の約3倍の大きさが必要になるところを、PCaPC扁平梁では約2倍の大きさで同程度の耐力を確保できます。当社のプレキャストプレストレスト技術の強みを活かしてPCaPC扁平梁の採用が適切な案件で積極的に提案していきたいと思えます。

# 大規模道路ネットワークの構築に向けて

## —東海環状自動車道工事—

東海環状自動車道は、愛知県・岐阜県・三重県に跨る、延長約160kmの高規格幹線道路です。中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結ぶことで、広域ネットワークを構築し、物流の効率化や観光事業の活性化、災害時の物資輸送路・迂回機能の確保等、さまざまなストック効果が期待されています。

2009年4月に東回りの約76kmが開通し、現在は西回りの事業が進められています。

当社は以前より本事業に参画してきましたが、2022年には集中的に4つの上部工工事を受注し、トータルの工事延長は2.4km、その受注総額は108億円にのぼり、現在、いずれの工事も最盛期を迎えています。

当社の土木事業がリニューアル工事へと移行していく中、東海環状自動車道工事によって、改めてPC上部工においても業界をリードする企業として存在感を示しています。これからも事業を通じて、地域社会の発展に貢献してまいります。



かみのぼ  
上保高架橋

受注額 34.4億円  
工期 2022.3~2024.11  
形式 PC連結コンボ橋  
PC連続2主版桁橋  
PC連続箱桁橋



政田第三高架橋

受注額 26.7億円  
工期 2022.4~2024.10  
形式 PC連結コンボ橋  
PC連続箱桁橋



七崎高架橋

受注額 24.4億円  
工期 2022.6~2024.8  
形式 PC連結コンボ橋



しめ  
七五三第二高架橋

受注額 22.5億円  
工期 2022.6~2024.10  
形式 PC連続箱桁橋

# PCa建築への取り組み強化

当社は、PCa(プレキャストコンクリート)工法において多くのノウハウと実績を持ち、また全国に自社工場や協力会社による生産ネットワークを持っています。PCa工法は高品質・高耐久性を実現するだけでなく、建設現場での「省人化」、「工期短縮」、「安全性の向上」、「環境配慮」など時代のニーズに応える技術であり、今後さらなる需要が期待されています。

通常のPCa工法に加え、当社が得意とするPC(プレストレストコンクリート)技術を取り入れたPCaPC工法を活かし、人・街・地球にやさしい建築を目指してまいります。



## PCa建築の特長

### ■ 早期開業・収益化

PCa部材は大半が工場生産のため、生産スケジュールが天候に左右されにくく、工期の短縮・安定化が図れます。

現場工期 工期14.5ヶ月→12ヶ月



### ■ 高品質・高精度

PCa部材は工場で厳格な管理のもと、高品質・高精度な部材が安定して供給されます。

ひび割れ発生率 平均2.4m/戸→0.3m/戸



### ■ 環境にやさしい

PCa部材の製作には同形状の型枠材を繰り返し利用できるため、在来工法に比べて産業廃棄物の排出量を削減できます。

産業廃棄物 総量134トン→85トン



### ■ 省人化・安全性

PCa部材の工場生産により、現場作業の効率化が図られ、建設作業員の省人化と施工時の安全性の向上につながります。

作業員数 躯体・仮設工事の作業員が1/3



※データは12階建て1棟120戸の集合住宅、WR-PC工法と在来工法を比較したものの  
出典:「一般社団法人プレハブ建築協会」

※PCa工法とは、建築物や構造物のコンクリート部分(壁・柱・床版・梁など)を工場であらかじめ製作し、建設現場へ運搬し、建築躯体を構築する工法です。

## 定期借地権による不動産ストック事業の第2弾

# メディカル・リハビリホームグランド知事公館前 竣工

2022年7月より建設を進めていた住宅型有料老人ホームが本年5月末に完成し7月にオープンいたしました。本事業の推進にあたり50年の定期借地権にて土地をお借りし、当社設計施工にて建設し、テナント様にご入居いただきました。今回の計画地は札幌駅、北海道神宮、北海道知事公館や植物園にも至近で、緑に恵まれた環境と好立地に位置しております。

不動産ストック事業とは、土地や建物を所有・賃借して有効活用し、それによる家賃や地代などの収入を得るもので、その収益は会社全体としての兼業事業に計上されます。一般的に不動産活用のポイントは「立地」「適切なテナントの選定」に集約されますが、今回は超高齢社会を鑑み、住宅型有料老人ホームというテナント構成といたしました。当社の建物が地域に根ざし、高齢者福祉のお役に立つことを心から望んでおります。

当社では中期経営計画において2019年度より継続して掲げている3ヵ年投資計画における兼業事業として、不動産関連事業の拡大と収益基盤の強化を図るため、リニューアルなど建築周辺事業の拡大や収益の多様化、安定化を推進してまいります。



### 工事概要

- ・建物名称 メディカル・リハビリホームグランド知事公館前
- ・工事場所 北海道札幌市中央区北3条西14-1-7
- ・事業主 (株)ピーエス三菱
- ・設計施工 (株)ピーエス三菱札幌支店
- ・敷地面積 1,986.82㎡ ・延床面積 3,675.65㎡
- ・構造規模 鉄筋コンクリート造4階建(PC梁現場緊張)

## CO<sub>2</sub>排出量削減に向けたグリーン電力の導入

当社は事業活動を通じた環境課題の解決を実現するため「THE GREEN VISION」を策定しています。その中でも気候変動への対応について取り組みを推進するため、電気使用時のCO<sub>2</sub>排出量をゼロにすることができるグリーン電力に着目し、2023年度はエネサーブ社からグリーン電力の供給を受け、東京建築支店管轄の建設現場で試行導入を行っています。

今後は試験導入による課題を整理し、全国の建設現場へグリーン電力を展開することでさらなるCO<sub>2</sub>排出量を削減し、持続可能な社会・環境づくりに貢献してまいります。



## 業務効率化へ向けて

### － Buildeeの導入－

「建設業の2024年問題」という猶予されていた時間外労働上限規制の適用を来年に控えています。時間外労働削減への対応が迫られる中、当社は今年度建設現場施工管理サービス「Buildee」を全国約40の建設現場で試行導入し、業務効率化に向けた取り組みを強化しています。

「Buildee」とは日々の工事における作業予定、車両搬出入、揚重機や機材の使用予定等のすり合わせを行う「調整会議」、現場への出退勤の管理を行う「入退場管理」、現場の安全を守るために必要な書類管理を行う「労務安全」という3つの機能を持ち合わせた建設現場で必要な要素を全て網羅したオールインワンのウェブサービスです。パソコン、タブレット、スマートフォンでいつでもどこでも利用することができるため、打合せ時間を大幅に短縮し、業務効率を向上することが可能になります。

2024年度には原則全現場への導入を予定しており、試行運用中に発生した課題に対処するため迅速に取り組んでまいります。



…… 労働時間の短縮に向けて



建設現場施工管理サービス

**Buildee**

の試行導入



調整会議

…… 作業予定等の連絡調整



入退場管理

…… 入退場をリアルタイムで管理



労務安全

…… 現場の安全を守る書類の管理

打合せ時間の  
大幅短縮

…… 試行運用で課題解決

2024年度 本格運用

業務効率化の実現



## 本社オフィスの移転

2023年7月、働きやすい環境づくり・通勤の利便性向上を目的に本社・東京土木支店・東京建築支店を東京都港区東新橋に移転しました。

新オフィスでは、本社と支店間の間仕切りをなくし、オープンなミーティングスペースを多く設けることで、組織の垣根を超えた交流やコミュニケーションの促進が図れるレイアウトとしました。また、既存什器の転用・リユース品を多く活用することで環境面にも配慮いたしました。

今後も社員一人ひとりの働く意欲を向上させる環境づくりを多方面で進め、新しい働き方へ取り組んでまいります。



「他素材調和」「先進性」「ものづくりの臨場感」をコンセプトとした受付



オープンなミーティングスペースを多く設置



リユース什器を活用したミーティングスペース

# 完成工事のご紹介・・・土木編



## 県道20号線(泡瀬工区) 橋梁整備工事(その6) [沖縄県]

沖縄本島の沖縄市の泡瀬干潟内に建設を進める泡瀬人工島と本島を繋げる連絡橋です。

プレキャスト製品を使用し、沖縄県が掲げる厳しい塩害環境下での100年耐久性のニーズに応えるため、塗装鉄筋および高耐久の材料を使用しました。



施工中

## 北勢第三高架橋第一工区 (PC上部工) 工事 [三重県]

東海環状自動車道の大安ICから北勢IC間に位置する橋長278mのPC7径間連続コンポ橋の橋梁上部工工事です。

東海環状道路は、中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化等のさまざまなストック効果が期待されています。



夜間施工中



## 成羽川橋他2橋床版取替工事 [広島県]

「高速道路リニューアルプロジェクト」の一環として、中国自動車道 庄原IC～東城IC間の成羽川橋他2橋の床版取替工事です。

老朽化が進んだ床版の取り替えにより、持続可能な高速道路の提供に寄与しております。



施工中

# 完成工事のご紹介・・・建築編



## artVI建替計画 [東京都]

中野駅西口周辺開発地域に立地し、賃貸マンションを中心とした9階建て建物を当社の設計施工で建設しました。

外観はダークトーンで彩られたスタイリッシュで洗練されたモダンなデザインとなっています。先進の仕様、設備が充実しており、さまざまなライフスタイルに対応できることが特徴です。



▲エントランスホール



風除室▶

## 東京応化工業(株)郡山工場2023倉庫 建設工事 [福島県]

福島県郡山市の西部工業団地にある半導体製造に必要な高純度化学薬品の製造工場において、原料、製品を貯蔵する危険物倉庫を新たに建設したものです。

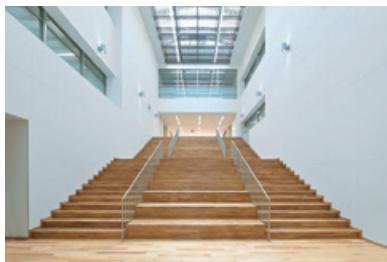
鉄骨造平屋建ての自動ラック倉庫の他、計7棟、延床面積約2,830㎡となります。



## 豊津地区小学校新校舎建築工事 [福岡県]

福岡県北東部に位置するみやこ町で、3地区の小学校統合のため、新校舎を建設しました。

地上3階で庇を長くすることで直射日光を遮り、また雨の吹込みも少なく窓を開けての換気も可能となります。ホール中央には大階段があり、開放的な空間として、集合写真等の利用を想定しています。



◀ ホール中央の大階段



## 金沢美術工芸大学建設工事 PC工事 [石川県]

旧校舎の老朽化に伴い、金沢大学工学部跡地に移転整備計画された新キャンパスです。

7棟の建物と大屋根による「アートプロムナード」により構成されたキャンパスで、開放感のある大空間と、スタイリッシュなコンクリート打ち放し仕上げが特徴となっています。



当社製作のPCa柱▶

## ■ 会社概要

商号	株式会社ピーエス三菱 P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.
設立	1952年3月1日
資本金	4,218,500,000円
従業員数	単体：1,155名 連結：1,712名
本社・支店	
本社	〒105-7365 東京都港区東新橋一丁目9番1号 (03) 6385-9111
東京土木支店	〒105-7366 東京都港区東新橋一丁目9番1号 (03) 6385-9511
東京建築支店	〒105-7367 東京都港区東新橋一丁目9番1号 (03) 6385-9611
札幌支店	〒001-0010 北海道札幌市北区北10条西二丁目13番地2 (011) 717-2133
東北支店	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 (022) 223-8121
名古屋支店	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 (052) 221-8486
大阪支店	〒530-6027 大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 (06) 6881-1170
広島支店	〒730-0016 広島県広島市中区鞆町13番15号 (082) 223-5092
九州支店	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 (092) 739-7001

## ■ 役員

### 取締役および監査役

代表取締役	森 拓也
代表取締役	川原利朗
代表取締役	居村昇
取締役	佐々木晋
取締役	櫻林美津雄
取締役	加藤秀樹
取締役	保坂美江子
取締役	吉良尚之
取締役	雑賀和彦
常勤監査役	朝倉浩
常勤監査役	水嶋一樹
常勤監査役	小山靖志

(注) 取締役加藤秀樹、保坂美江子、吉良尚之、雑賀和彦の4氏は社外取締役であります。  
監査役朝倉浩、水嶋一樹の両氏は社外監査役であります。

### 執行役員 (※は取締役兼務)

※ 社長執行役員 (全般統理)	森 拓也
※ 副社長執行役員 (社長補佐・国内関係会社担当兼海外事業担当)	川原利朗
※ 専務執行役員 (建築本部長)	居村昇
※ 常務執行役員 (管理本部長・経営企画担当兼サステナビリティ推進担当)	佐々木晋
※ 常務執行役員 (土木本部長)	櫻林美津雄
常務執行役員 (大阪支店長)	藤原博之
常務執行役員 (東京建築支店長)	寒川勝彦
執行役員 (建築本部本部長)	宮岡良幸
執行役員 (海外事業室長)	榎谷孝志
執行役員 (名古屋支店長)	田原道和
執行役員 (東京土木支店長)	武田哲郎
執行役員 (技術本部長・安全品質環境担当)	大山博明
執行役員 (建築本部本部長兼建築営業部長)	松本太郎
執行役員 (経営企画室長)	小林仁
執行役員 (管理本部本部長兼総務部長兼サステナビリティ推進室長)	宅野伸二

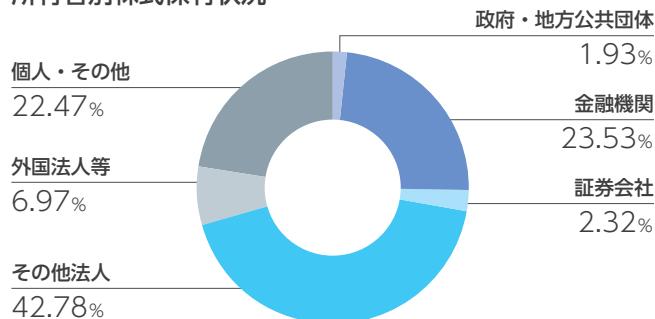
## 株式の状況

発行可能株式総数	11,000万株
発行済株式の総数	47,486,029株
株主数	14,919名

## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
UBE三菱セメント株式会社	15,860,354	33.40
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	4,491,300	9.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,512,500	7.39
住友電気工業株式会社	1,834,800	3.86
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,624,100	3.42
岡山県	839,740	1.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口・75949口)	753,071	1.58
RE FUND 107-CLIENT AC	565,400	1.19
ピーエス三菱取引先持株会	506,960	1.06
三菱地所株式会社	496,000	1.04

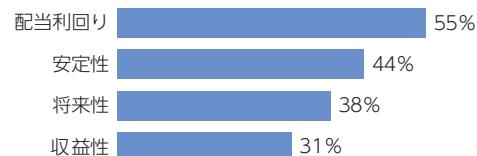
## 所有者別株式保有状況



## 株主様アンケート結果のご報告

第75期株主通信において実施させていただきましたアンケートでは、大変多くの株主様にご協力をお願いし、厚く御礼申し上げます。この貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、今後の株主通信の発行およびIR活動に活かし、取り組んでまいります。

### 当社の株式を購入された理由 (複数回答)



### 中心にご覧いただいた内容 (複数回答)



### ご意見・ご要望 (要旨抜粋)

- ・ 完工した橋梁や建造物を写真で知ると株主として誇る気持ちになる。コストにめげずに情報ツールを続けてほしい
- ・ 社会資本の老朽化対策 (床版・橋の架け替え)、整備新幹線等の受注増に期待する
- ・ 技術は素晴らしいと思うので、もっと業界でのプレゼンスの向上に努めてほしい

### ホームページのご案内

財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

<https://www.psmic.co.jp/>



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.psmic.co.jp/">https://www.psmic.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com> **いいかぶ** **検索**  
アクセスコード 1871

 **空メールによりURL自動返信** [kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp)へ空メールを送信してください。  
(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

**ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（QuoカードPay500円）を進呈させていただきます**



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

（株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズについての詳細 <https://www.link-cc.co.jp>）

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL: [info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com)

## 表紙の説明



本建物は、隣接する本社棟デザインの特徴である曲線のモチーフを取り入れ、高さや外壁面を揃えることで既存棟との一体的な景観を形成しています。カーテンウォールを採用することにより、美濃の山々を望むパノラママウンテンビューを提供しています。また、本工事の取り組みにあたってはBIMを活用し、着工前から建物外観や建物内部の完成イメージを共有しながら工事を進めました。

## コーポレートマーク



生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。  
また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C013080



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。